公益社団法人　空気調和・衛生工学会

第 30 回　篠原記念賞および同奨励賞

（目的）故篠原隆政氏の業績を記念し、給排水衛生設備に関する技術の研究、開発または普及に、特に優れた業績を挙げた会員に対し、篠原記念賞を贈って表彰するものである。
また、給排水衛生分野を専攻し、将来の活動が期待できる博士修了学生あるいは修士修了学生、または社会人として現在同分野で活動し、今後もさらなる活躍が期待できる会員に対し、篠原記念賞奨励賞を贈って表彰するものである。

1.　篠原記念賞(3 件)

受 賞 者	岩本　静男（神奈川大学）
推薦理由	岩本　静男君は、1993 年から省エネルギー基準の給湯設備に係る基準の策定に取り組み、現在は給湯 SWG の主査を務めており、給湯設備設計の省エネルギー化を研究対象とし、給湯設備の省エネルギーにとって重要な水道水温の予測法に関する研究と継続に取り組み続けている。その結果として、2009 年 5 月には論文賞「配水管・給水管内水温の予測法に関する研究」を受賞している。その後も、文科省科学研究費補助金の基盤研究において「多様な使用実態に対応可能な住戸セントラル給湯システム効率評価手法の確立」、「建物内給水温度の推定法」、「多様化する給湯用熱源の一次エネルギー消費量算定」が採択されている。 また、本学会の初級技術者のための研修会では 2007 年度から現在に至るまで給湯設備を担当している。1997 年からは地球環境委員会に所属して幹事や委員長も務め、2001 年より煙突計算基準の策定に関連して標準化委員会に委員として所属し、委員・幹事を務めている。さらに 2004 年から省エネルギー委員会の住宅関連の小委員会に所属するなど、幅広く活動を続けている。このように給排水衛生分野の技術の発展に関して、今後ますますの活躍が期待される。 よって、その功績は篠原記念賞に値するものと認める。

受 賞 者	村田　和也（鹿島建設(株)）
推薦理由	村田　和也君は、学会誌委員会給排水衛生・水環境小委員会に参画し、公益社団法人 腐食防食学会建築設備技術小委員会の活動を 1992 年から継続し、そこで得られた建築設備の腐食防食に関する知見を当学会に紹介することにより、建築設備の腐食防食の実用的な知識を広めた。 また、学会誌委員会 給排水衛生・水環境小委員会委員として、学会誌の特集及び講座の企画立案に積極的に参画し、企画立案、構成検討、執筆者推薦といった一連の業務を担当した。特に 2020 年 8 月から 6 回連載の講座「建築設備の腐食事故とその予防」では、企画にとどまらず全編を自ら執筆し、建築設備の腐食・防食を実務に役立つ内容・構成で設備技術者にもわかりやすい講座としている。 建築設備分野にて専門家が不足している「腐食・防食」を得意分野とし、給排水衛生設備をはじめ、建築設備において実際に発生した腐食トラブルの情報を蓄積し、さらには腐食防食学会などでの活動により豊富な情報量を持っている。これら経験・情報に基づいた多面的なアプローチによって建築設備の腐食実態を分析、次世代技術者へ当学会誌の企画・執筆を通して技術継承を行った功績は大きいものである。このように給排水衛生分野の技術の発展に関して、今後も益々の活躍が期待される。 よって、その功績は篠原記念賞に値するものと認める。

受 賞 者	嶌田　成二（(株)ユニ設備設計）
推薦理由	嶌田　成二君は、学生時代から給排水衛生設備の研究を行い、学会大会でも給水給湯使用量調査、温泉排熱利用の省エネ実績などを発表し、2006 年には篠原記念賞奨励賞を受賞している。その後も給排水衛生設備を中心とした建築設備の設計・監理を行い、温泉熱、温泉排熱を利用した設備システムで 2014 年地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞するなど、給湯設備、温浴設備の省エネルギーを進めてきた。 本学会では給水管・給湯管の小口径化に関する検討小委員会の幹事を務め、大便器洗浄弁を使用する従来モデルとロータンク方式を用いる小管径モデルでの比較を行い報告し、ホールの改修工事にて配管の小管径化、ポンプの低流量化、低消費電力化の普及を実践面で企画し、水泳プール・浴場設備の計画・設計と維持管理手法小委員会においては大会ワークショップにて報告、タンクレスオーバフロー回収方式を提案し、温泉排熱利用について報告書をまとめるなど、業界への普及に努めている。 また、2018 年度より NPO 給排水設備研究会の事業委員、同アジア建築設備推進委員会での調査及び報告、2019 年度より給排水設備研究会事業担当理事、2020 年度より建築環境・省エネルギー機構の給湯設備の省エネ性向上に向けた設計指針作成委員会幹事を務め、近年の活動も活発である。このように給排水衛生分野の技術の発展に関して今後、益々の活躍が期待される。 よって、その功績は篠原記念賞に値するものと認める。

２．篠原記念賞奨励賞（4 件）

受 賞 者 主な業績	久保田　雄亮（関東学院大学大学院） 修士論文「介護施設等に設置する紙オムツ破砕処理排水システムの開発と性能評価に関する研究」
受 賞 者 主な業績	藤村 和也（(株)三菱地所設計） 学会論文集「最新型大・小便器への器具給水負荷単位の適用の検討 第 1 報 基礎原理と節水型器具への器具給水負荷単位の適用」
受 賞 者 主な業績	篠塚 利彦（関東学院大学大学院） 修士論文「既存高層集合住宅ストックにおける雑排水管の改修と設計手法に関する研究」
受 賞 者 主な業績	土山　紘平（北海道大学大学院） 修士論文「給湯設備における衛生確保と省エネルギー化に関する研究－給湯配管用自己制御ヒータを利用したシステムの実験的考察－」